

| 授業科目 | *小児看護方法論 | | | | 実務家教員担当科目 | ○ | | | | | |
|--------------------------------------|---|-----|------|-------------------|--------------|------|----|-----|---|-------------|----------|
| 単位 | 2. | 履修 | 必修 | 開講年次 | 2 | 開講時期 | 後期 | | | | |
| 担当教員 | 樋口 由貴子 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>小児各期の健康問題を理解し、解決のための援助・支援について解説する。</p> <p>また、健康障害や入院が子どもや家族に及ぼす影響とそれらに対する反応を解説し、個別的な看護を実践するために必要な基礎的知識・技術・態度について、子どもに見られる代表的な健康障害を取り上げながら解説する。これらを実務家教員として臨床現場での経験を生かした事例等を取り入れながら解説する。</p> | | | | | | | | | | |
| 授業形態 | 講義および個人ワーク | | 授業方法 | 個人ワーク、発表、ディスカッション | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | | | | | | | | | | | |
| 標準的レベル | <p>1. 小児各期に起こる健康問題を理解し、健康問題解決のための援助・支援について説明できる。(DP1-2)</p> <p>2. 各発達段階において健康生活を維持できるよう実施されている施策や対策について説明できる。(DP1-2)</p> <p>3. 子どもによく見られる症状の看護について説明できる。(DP2-1)</p> <p>4. 健康障害をもった子どもや家族の反応や影響因子、それによる生活の変化を説明できる。(DP2-1)</p> <p>5. 入院による子どもや家族への影響を説明できる。(DP3-2)</p> <p>6. 健康障害をもった子どもや家族の抱える健康問題を考え、健康の維持、回復、増進のための援助方法が説明できる。(DP4-3)</p> <p>目標1~6の内容を理解し、内容の概要について説明できる。</p> | | | | | | | | | | |
| 理想的レベル | 目標1~6の内容を総合的に理解し、内容について適切に説明できる。 | | | | | | | | | | |
| 評価方法・評価割合 | | | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価割合(数値) | | | | 備考 | | | | | | |
| 試験 | 65% | | | | 内容は授業中に提示します | | | | | | |
| 小テスト | | | | | | | | | | | |
| レポート | 25% | | | | 内容は授業中に指示します | | | | | | |
| 発表(口頭、プレゼンテーション) | 10% | | | | | | | | | | |
| レポート外の提出物 | | | | | | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | | | |
| カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング | | | | | | | | | | | |
| DP1 | ○ | DP2 | ○ | DP3 | ○ | DP4 | ○ | DP5 | - | ナンバリング | NU21309J |
| 学習課題(予習・復習) | | | | | | | | | | 1回の学習目安(時間) | |
| 予習: 授業内容について配付資料、テキスト、参考資料等に目を通しておく。 | | | | | | | | | | 4 | |
| 復習: 本日の授業内容を振り返る。 | | | | | | | | | | | |

| 授業計画 | |
|------|---|
| 第1回 | <p>テーマ：科目のオリエンテーションおよび小児各期の健康問題と援助・支援方法1 乳幼児期及び学童・思春期の健康問題と援助方法について解説する。 担当：樋口由貴子</p> |
| 第2回 | <p>テーマ：小児各期の健康問題と援助・支援方法2 乳幼児期及び学童・思春期の健康問題と援助方法について解説する。 個人ワーク1。 担当：樋口由貴子</p> |
| 第3回 | <p>テーマ：小児各期の健康問題と援助・支援方法3 小児保健システムについて解説する。 個人ワーク2。 担当：樋口由貴子</p> |
| 第4回 | <p>テーマ：小児各期の健康問題と援助・支援方法4 乳幼児期及び学童・思春期の健康問題と援助方法についての個人ワーク発表。 担当：樋口由貴子</p> |
| 第5回 | <p>テーマ：健康障害と子ども、家族 健康障害が、子どもや家族に与える影響を解説する。 担当：樋口由貴子</p> |
| 第6回 | <p>テーマ：入院と子ども、家族 入院が、子どもや家族に与える影響を解説する。 担当：樋口由貴子</p> |
| 第7回 | <p>テーマ：症状と看護1 子どもに見られる代表的な症状(発熱、嘔吐下痢など)について、その原因、病態、アセスメント、看護を解説する。 担当：樋口由貴子</p> |
| 第8回 | <p>テーマ：症状と看護2 子どもに見られる代表的な症状(脱水、痙攣、呼吸困難など)について、その原因、病態、アセスメント、看護を解説する。 担当：樋口由貴子</p> |
| 第9回 | <p>テーマ：急性期にある子どもの看護 主に集中治療を受けている子どもと家族への看護とについて解説する。 担当：樋口由貴子</p> |
| 第10回 | <p>テーマ：検査・処置を受ける子どもの看護 子どもが積極的に検査や処置を受けられるような支援を解説する(プレパレーションを含む)。 担当：樋口由貴子</p> |
| 第11回 | <p>テーマ：慢性期にある子どもの看護 慢性疾患を持った子どもの身体的、心理社会的特徴を踏まえ、子どもや家族への看護を解説する。 担当：樋口由貴子</p> |
| 第12回 | <p>テーマ：終末期にある子どもの看護</p> |

| | |
|-----------------------|--|
| | 終末期にある子どもの身体的、心理社会的特徴を踏まえ、子どもや家族への看護を解説する。 担当：樋口由貴子 |
| 第13回 | テーマ：障がい児の看護 障がい児の特徴および看護を解説する。 担当：外部講師 |
| 第14回 | テーマ：被虐待児と家族への看護 被虐待児（虐待を受けている可能性のある子ども）と家族への看護を解説する。 担当：外部講師 |
| 第15回 | テーマ：小児の在宅看護、災害看護 在宅で生活する小児や家族の看護や災害時の看護について解説する。 担当：藤本奈緒子 |
| テキスト | 中野綾美編；ナーシング・グラフィカ 小児看護学1 小児の発達と看護、メディカ出版、2023 |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 授業中に適宜紹介します。 |
| 課題に対するフィードバックの方法 | レポートは、コメントをつけて返却します。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | 様々な状況や健康障害のある子どもへの援助方法を学ぶために、1, 2年で学習した知識と小児看護学概論を振り返り理解しておいてください。 健康障害をもった子どもや家族への支援を考えるというのは、イメージがつきにくい所があると思いますが、予習復習をきちんとやって積極的に授業に臨んで下さい。 また、授業の日程は、講師や実習等の都合で前後することがあります。変更は適宜お知らせします。 |